



2024 年 5 月 10 日 アサヒグループジャパン株式会社 NEXT Logistics Japan 株式会社

## ダブル連結トラックを活用した工場間の直送を開始

ドライバー2 名から 1 名での輸送を可能とし、 $CO_2$  排出量約 35% の削減を見込む 2024 年問題への対応や環境施策を強化

アサヒグループジャパン株式会社(本社 東京、社長 濱田賢司、以下アサヒグループ)と NEXT Logistics Japan 株式会社 (本社 東京、社長 梅村幸生 以下 NLJ) は持続可能かつ生産性の高い物流の実現に向け、 NLJ の 25m ダブル連結トラックを活用した工場間の直送を 5 月 13 日から開始します。

アサヒ飲料明石工場・群馬工場間の商品の輸送は、主にアサヒグループ傘下のアサヒロジが所有する大型トラック 2 台で実施しています。今回、一部の便を NLJ が所有するダブル連結トラックによる直送に切り替えます。大型トラック 2 台が両工場間を直送する場合と比較し、ドライバー1 名での輸送が可能で、 $CO_2$ 排出量は約 35%\*の削減を見込んでいます。ダブル連結トラックによる工場間の全区間の直送はアサヒグループで初めてです。



※NL」調べ ダブル連結トラック



アサヒグループと NLJ はこれまでも、日本初となる水素を燃料とした燃料電池大型トラックの走行実証や物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS』の実証実験を通じて、物流における  $CO_2$  排出量削減や省人化に取り組んできました。今後は、ダブル連結トラック直送の便数増加やアサヒグループの他工場間への拡大、他企業の荷物を混載して配送することも検討しています。引き続き連携を図り、トラック運転手の時間外労働の上限規制により生じる 2024 年問題への対応や環境施策を強化することで、持続可能な物流の実現を目指します。